

全国の方々の声をもとに、新しい道づくりを提言しました。

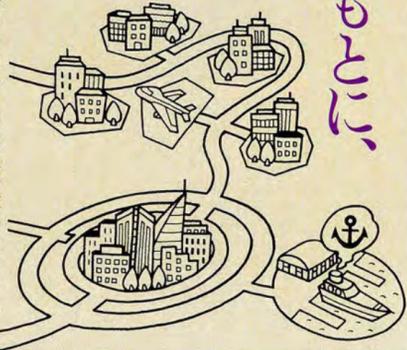
道路審議会の「21世紀の生活と道を考える委員会」では今年6月、新しい道路計画の考え方を「建議」にまとめ、建設省へ提出しました。これを受けて、建設省ではこれからの道づくりの道ビジョンをまとめました。昨年実施した「キックオフレポート」「ボイスレポート」(※)と、それらをまとめた「中間とりまとめ」などで全国の皆さんから寄せられた、合計5万件あまりの様々な意見に基づいたものです。

この中には、道路政策の評価基準を、「道路をどれだけつくったか」といった「量」から、「移動の効率」がどれだけよくなったか、「道路を通る人の満足度」がどれだけ上がったかといった「社会的価値」へと転換すること、さらに、道路政策を正しく評価するシステムを導入することなどが盛り込まれました。

道路をつくる人と利用する人、地域の人々の多様な意見をもとに、協力しながら道路づくりをすすめる。21世紀に向けた新しい道路づくりへの第一歩です。

「みち」と「まち」の情報がいっぱい。「みちまちスクエア」へどうぞ。

四つ橋筋と堺筋を結ぶ地下街「クリスタ長堀」に、「みちまち」の情報コーナー「みちまちスクエア」がオープンしました。建設省近畿地方建設局や、道の駅ホームページに自由にアクセスしたり、道に関する情報を検索したり、道路や、大阪のイベント・キャンペーンに関するパンフレットなどは持ち帰り自由(緑立つ道の最新号も置いてあります)。気軽に楽しく、いろいろな情報に出会えるスポットです。



各市の催し

- ▼近代大阪の日本画名品展
開催中 11月24日(祝)まで(市立枚方市民ギャラリー) 枚方に大阪美術学校を開いた。をはじめ、近代大阪を代表する日本画家の作品を展示。有料。
- ▼[問]市民ギャラリー ☎0720(4)4012
- ▼第9回みんなの健康と福祉展
11月16日(日) 10時~15時(市民総合体育館)
映画会、ボランティア紹介、各科の検診相談など。無料。
- ▼[問]四條畷市役所生活がい対策室 ☎0720(7)2121
- ▼交野市農業まつり
12月20日(土)・21日(予定) JA交野市本店及びその周辺 市内農産物の即売、各種模擬店など。
- ▼[問]交野市役所農政商工課 ☎0720(9)0121
- ▼門真ハーブマラソン
1月12日(月) (淀川河川敷) 有料(参加費)。
- ▼[問]門真市社会教育課 ☎06(900)1804

読者の声

第11号にお寄せいただいたみなさんのご意見。その一部をここでご紹介いたします。

結婚 婚を機に門真に引っ越して1年。自然なじみになかったこの地方の「道」にも親しみを覚えるようになりました。「緑立つ道」の記事を片手に散歩しようと思っています。[門真市] さん

い つも楽しく拝見しています。寝屋川に住むようになったのは、郷里から出て来た後で、この浸水の経験はありませんが、11号で、内水域の地域に我が家が入っているのを見て大変驚きました。これからは地域に密着した記事を期待しています。[寝屋川市] A.M.さん

11 号で紹介されていた「深北緑地」は、私の家のごく近所で、私も実は前からとても気に入っている場所です。新しい公園ですが、テニスコートやグラウンド、水辺等、きれいに整備されていて、憩いの場所としてもついています。近所にこんな素晴らしい公園があるなんて、本当にラッキーだと思います。[四條畷市] さん

思 わずペンをとったのは、5歳の長女が「どもしんぶん」を自分で読んでしまったからです。11号の誌面に「鹿の飛び出し注意」の標識を見つけて、奈良公園に遊びに行ったとき、道路のそばまで鹿が来ていたことや、実際にこの標識を見たことを思い出したからだと思います。「どもしんぶん」は、ゆつくり時間をかけて読むと子供なりに理解できるようで、次号も楽しみにしています。[枚方市] さん

わたしの好きな道を募集します

「緑立つ道」の表紙を飾る、北河内のすてきな道をご紹介ください。「景色が美しい」「いつも散歩する」「思い出がある」……北河内にあるあなたの「好きな道」を、どんどんお寄せください。応募の際には、住所氏名、年齢、電話番号と、「道」のある場所紹介した理由をお書きのうえ、道の写真(スナップ写真で構いません)を添えて、左の宛て先の、わたしの好きな道係までお送りください。応募いただいた方には記念品をプレゼントします。写真は返却いたしませんので、ご了承ください。

〒
ご意見、ご質問をお待ちしています。

記事への感想・意見はもちろん、現在計画中の「緑立つ道」に関するご意見やご要望・質問など、いろいろなお便りをお寄せください。住所氏名、年齢、電話番号をお書きの上、左の宛て先までお送りください。また、「希望の方には北河内の道の歴史の小冊子」道をつなぐ「二十年」をさしあげます。

※いただいたお便りは、「読者の声」コーナーで紹介させていただきます。

宛て先

建設省 近畿地方建設局 浪速国道工事事務所
「緑立つ道」編集局
〒573 枚方市南中振3丁目2番3号
☎0720(33)0261



第12号によせて

今回、みなさんの参加で、『緑立つ道』にたくさんの緑が植樹されました。木が大きく育つまでにはしばらく時間がかかりますが、豊かな緑が街のシンボルになる日まで、あなたがたが見守っていてください。次号の発行は平成10年2月、この予定です。

緑立つ道

Vol.12

1997年11月発行

発行 建設省近畿地方建設局浪速国道工事事務所
日本道路公園大阪建設局枚方工事事務所



『緑立つ道』は、大阪と京都を結ぶ新しい幹線道路「第二京阪道路」と「一般国道1号バイパス」の愛称です。

緑立つ道 植樹祭 in かどま

特集

「緑立つ道」から、ふるさととの森を。



読者が選ぶ 北河内の風景

古川橋駅前のケヤキ並木 (推薦●門真市 さん)
京阪本線・門真駅に続く南北約2kmほどの道路で、両側にケヤキの並木と、サツキやクチナシなどの花壇があります。春の新緑、夏の緑陰、秋の黄葉……と、季節ごとの変化が美しく、歩道もゆつくり整備されているので、よくこの道を散歩します。自動車試験場への通り道なので、地元の人以外にも多くの人が行き来しますが、だれにとっても気持ちの休まる憩いの道路ではないでしょうか。

今号のレポーター さん

ふるさとの木から 「生きた緑」が生まれる。

「ふるさとの木」は、初めは小さな苗木ですが、たくさん種類の木を混ぜて植えるので驚きです。

「それが、自然本来の姿に近いからです。自然は、非常に多様なものが互いにかわりあいが成り立っている。人間の手で緑をつくる時も、そうした自然の森の状態を基本として混植・密植すれば、競い合いながらも共生して、確実に育ちます。樹種は、その地域の植生の「主役」になるようなものを選びます。

「それが、先生のおっしゃる「ふるさとの木」ですね。」

「そうですね。何千年も、自然のあらゆる試練に耐えてその土地に生き残ったのです。地域の人と歴史をともに生きてきた木です。今では開発や外来的な植樹などによって、土地本来の植生は大きく変わってしまっていますが、現場に出て丹念に調査すれば、神社の林や屋敷林などにわずかに残った自然林の残存木が、きちんと情報を発信しています。

「それが、この門真では、植樹祭で植えた木だけでなく、シヤブヤブ、シラカシ、アラカシ、ヤブツバキやヤマザクラ

「。そうしたふるさとの木こそが、未来につながる「生きた緑」をつくるのです。」

「今日植えたのは「ポット苗」(※)です。あの小さな苗木を植えるのはどうですか。」

「植物は、「根」で勝負します。ところが、成木を植樹するときには、植え替えやすいようになり根を切ってしまう。すると、少ない根から吸い上げる水分と、上の葉から蒸発する水分のバランスがとれないために、上の方から枯れてしまう例が多々あります。」

一方、成木は苗木よりずっと割高です。根が短く幹や枝が大きくつけないように、1本3千円のついでに、根が短くならない(笑)。費用の面でも効率がよくありません。大切なのは、「大きな木より、大きな能力をもった木をたくさん植えること」です。

「土の中には石などもかなりあるのです。大丈夫でしょうか。」

「これは、私たちが人類の文明の歴史は、自然と対決し、邪魔ものすべてを排除する歴史でした。森を

生きた緑のはたらきは、 科学も及ばない多様さ。

「私自身、街の中や道路沿いに緑があることは、道路の周囲に緑があることにはどんな意味があるのでしょうか。」

「これまで、私たち人類の文明の歴史は、自然と対決し、邪魔ものすべてを排除する歴史でした。森を



苗をビニールポットからははずす時は、「赤ちゃんの頭を支えるように、やさしく」。植えた後は根元に敷き藁を敷いて、乾燥を防ぎます。

「きりひらいて街をつくり、農地をつつきました。」

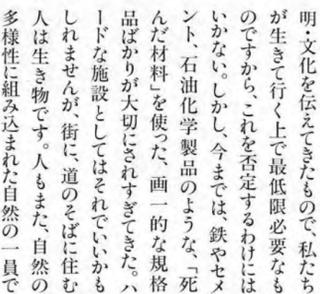
道路も同じです。道路は人間の文明を文化を伝えてきたもので、私たちが生きて行く上で最低限必要なものだから、これを否定するわけにはいかない。しかし、今までは、鉄やセメント、石油化学製品のような、「死んだ材料」を使った、画一的な規格品ばかりが大切にされてきた。ハードな施設としてはそれでいいけれども、道は、道のそばに住む人は生き物です。人もまた、自然の多様性に組み込まれた自然の一員です。「死んだ材料」だけに囲まれては、持続的には生きていけない。だから、死んだ材料でハードな施設をつくるなら、そのまわりで、生きていく緑の構築材料を積極的に取り入れなければなりません。

「私たちが生き物として、本能的に緑を求めているということですね。」

「植樹祭に参加された方々も、きつとそういう気持ちを持っていると思います。」

「加えて、緑にはもともとたくさん、具体的な機能があります。自動車が通れば、音も出るし、匂いや排気ガスも出る。道路沿いに立体的に緑があれば、防音や集塵、空気浄化などの機能を、人工的な防音壁よりもずっと多面的によく果たします。野鳥や昆虫が来る天然の植物園、動物園に

「ふるさとの木」の苗木たち。今はまだ数十センチの大きさですが、10年後には10m以上に成長します。



ふるさとの木を植えて、 緑と共生するあしたの道づくり。

緑立つ道 植樹祭 in かどま

平成9年8月30日、門真市のなみはやドーム前で、やがて生まれる『緑立つ道』の植樹帯(環境施設帯)をつくる植樹祭が行われました。

広く一般から募集した参加者は、約600人。国際生態学会会長 さんの指導をいただきながら、約1時間で1850本あまりの木を植樹しました。

もなります。美しい景観をつくる美術館でもあります。

また、木は80%が炭素で、地球の温暖化の元凶である炭酸ガスを木の中に固定します。木の表面積は芝生の30倍ありますから、すべての道路沿いに森が生まれれば、地球規模での環境保全に貢献します。

「災害の時に効果を発揮する」というお話でしたが、

「阪神大震災でも、一列の常緑の木が茂っていただけで延焼をくい止めたり、くすねた屋根を支えて、中の人々が助かったという例がたくさんありました。」

本物の緑は、現在の科学や医学が見落としていることも含めて、トータルなシステムとして人の命と心を守るものだと考えています。

市民参加の植樹祭は、 市民が主役の環境づくり。

「実際に自分の手で木を植えてみ



ると、この木を大切にしたい、という気持ちが生まれてきます。

「その気持ちが、地元の人々が自分の手で木を植えることの大きな意味だと思えます。私はこれまで、国内外で600カ所以上の植樹を指導してきましたが、たとえ天気が悪くても、寒かったり暑かったりしても、木を植えて帰るときのみならず、顔をとても満足そうです。自分が生きる環境を、自分でつくる。まさに、市民が主役となった『緑立つ道』づくりです。」

「小学生の子供たちもたくさん参加していましたが、みんな熱心に

木の種類を知りたがっていました。

「実際の現場で土や木に触れることは、どんな教科書よりも有効な環境教育になります。市長さんも一般の人も、高輪の方も子供さんも、みんないっしょになって木を植えることで、「環境は自分たちでつくるものだ」ということを、体で感じたと思います。」

市民が見守り育てることで、 豊かな「ふるさとの森」を。

「今日植えた小さな苗がどんな森になるのか、まっとうな想像できません。植樹とか緑化とかいうと、私たちが「すぐ成木が茂る」ことを求めたいのかもしませんが、

「3年たてば高さ3mの立派な森になりますよ。そうなるまで、息長く、あなたが気持ちで見つめてください。自然は、お金をかけたからすぐ完成するものではない。人間の赤ちゃんと同じで、大きくなるまでには生物学的な時間が必要だから。」

最初の冬をちゃんと越せたら、根がしっかりと、成長していきます。3年たてば、あとは自然の管理にまかせておけます。自然の法則——「エコロジーの脚本」にしたがって、主役になる樹種をきちんと選び、自然のお育てに任せて正しい植え方をし、自然の変化に耐えて生きていける。



参加者を代表して、地元門真市・二島小学校の子供たちが「みどりっぴーのふるさとをつくらう」と、緑化宣言をしました。

大雨が降っても泥ひとつ流れません。道路づくりというところ、どうして人工物をつくるイメージ、環境にマインスになるイメージがありました。豊かな森ができるのなら、環境をつくることになる気がします。

「……まさに、これからの道路づくりは、そういう可能性をもっていると思います。ただ、ぜひお願いしたいのは、こういう運動を長く続けてほしいということです。日本人は、最初の1回はするけれど、すぐ飽きてしまう。しかし、継続こそ力なりです。」

「『緑立つ道』の沿線を、門真から京都まで、多少狭くてもいっしょに考え、え方で緑をつくり続けていけば、すばらしい、道路と共生した森が生まれます。」

かつての「ふるさとの森」は、神宿る鎮守の森でした。これからは、市民の命と文化と心と魂が宿り、生まれてくる子供達の遺伝子資源を守る、21世紀、22世紀の「ふるさとの森」をつくらなければならないと思います。

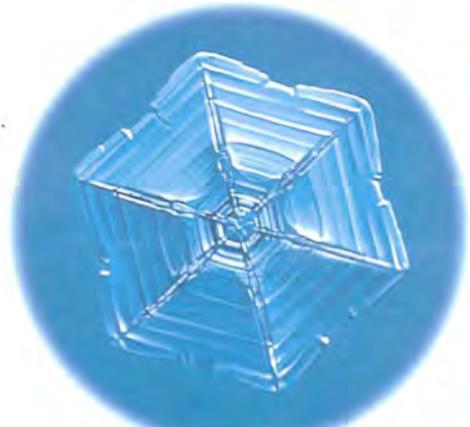
植樹祭では、まず、木の名前や特徴、植え方などを、さんに教えていただきました。さまざまな逸話を交えたお話を、会場の雰囲気が一気に盛り上がります。そして、いざ植樹。2、3人ずつ共同で土を掘り、いねいに苗を植えていきます。



さん
国際生態学会 会長 (財)国際生態学センター 研究所、長野県自然保護研究所、横浜国立大学名誉教授。理学博士。世界的な生態学の権威で、国内外約600カ所での「ふるさとの森」の再生、マレーシア、アマゾンの熱帯林再生などを進めておられます。「植物と人間」(NHKブックス)、「緑回復の処方箋」(朝日選書)、「緑環境と植生学—鎮守の森を地球の森に—」(NTT出版)など、著書多数。



さん
門真市在住。華道 流派、フラワーコーディネーターでもある谷さんは、季節の花や木を見ても大好きなこと。「自分で木を植えたと思うと、やはり元気に育ってほしいと思います。地元に住む私たちの環境への意識も高まっていくのではないのでしょうか。家からも近いので、また、この場所を見に来たいと思います。」

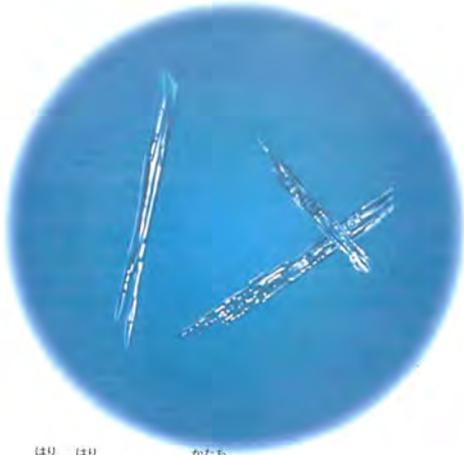


角板 (六角形の板のような形)
6本のえだが全部くっついて、ちょうど六角形になっているね。上空の温度が -10 度 ~ -20 度くらいで、しつ度が低いときに、この形になりやすいよ。

小さいなまじりつ・雪の結しゅーりー

雪は、生まれるときの温度やしつ度(しめり気)のちがいでいろいろな形の「結しゅーりー」になるんだ。

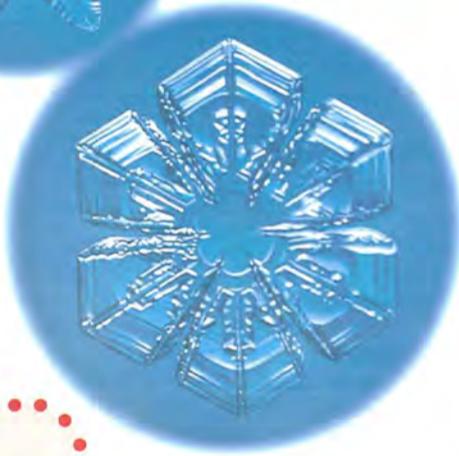
雪の結しゅーりーを観察すると、上空の様子がわかるのよ。雪を「天からおくられた手紙」とよんだ人もいるよ。今度、雪がふったら、外へでて観察してみよう。来年は、長野で冬季オリンピックがかいさいされるね。見に行く人がいたら、そこでも試してみてね。



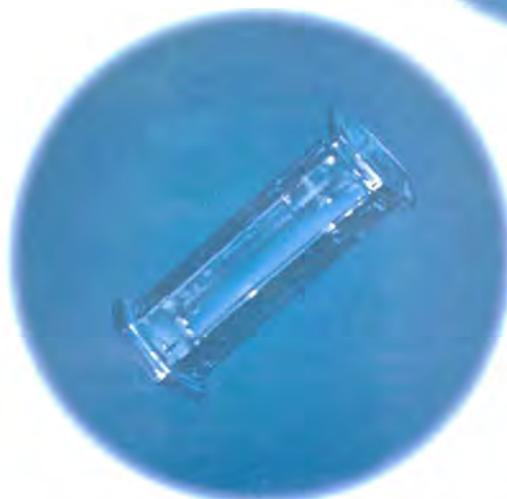
針 (針のような形)
「角柱」がのびて、細長くなった形。2 \sim 3本くっついて落ちてくることもあるよ。上空の気温が -4 度 ~ -10 度くらいで、しつ度が高いときにできるんだ。



広幅六花 (えだのはが広い形)
扇状六花 (えだがおつぎのようになりな形)
「樹枝状六花」と「角板」の中間の形。ひとつひとつのえだが、「樹枝状六花」よりも太くなっているね。しつ度が中くらいになるときにもできる形だよ。



樹枝状六花 (木のえだのような形)
イラストや、クリスマスツリーのかざりなどにもよくある形だね。しつ度が高く、上空の温度が 0 度 ~ -4 度くらいになるときにも、 -14 度から -16 度くらいになるときにもできるよ。直径 $7\sim 8$ ミリくらいのも大きいことになることもあるんだ。



角柱 (柱のような形)
 0.1 ミリくらいの、とても小さな結しゅーりー。上空の気温が -4 度 ~ -10 度くらいで、しつ度が低いときにできるよ。

気温の低い日には、大阪でも雪の結しゅーりーを観察できるよ!



雪がふってきたら、虫メガネと黒いぬので観察してみよう!

- 黒いぬのは、冷凍庫などで冷たくしておきます。
- このぬのを広げて、ふってくる雪を受け止めます。
- うまく受け止められたら、すばやく虫メガネで見てみてね。



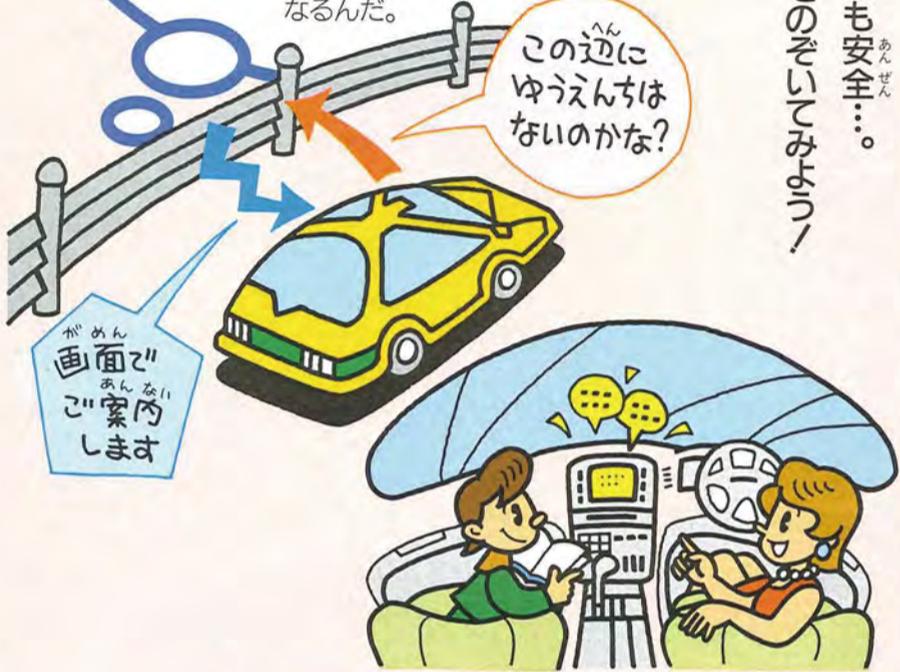
※できるだけ寒い日を選ぼう。夜は、特に見えやすいよ。
※ふっている間も雪の温度が変わるので、何か試してみよう。

未来の道って、どんな道?

すばやく便利で、みんなが楽しんで、とっても安全…。そんなゆめの道がある、未来の世界をのぞいてみよう!

道路が いろんな情報を 教えてくれるよ。

道路上の発信装置から、自動車の中のテレビ画面に、いろんな情報が届くよ。「どの道路がじゅうたいしているか」「どこで事故がおこったか」など、道路の情報を教えてくれたり、行きたい場所まで案内してくれたり。おすすめスポットのしょうかいや、英語のレッスンだってあるよ。知りたいことを、スイッチひとつで道路が教えてくれるようになるんだ。



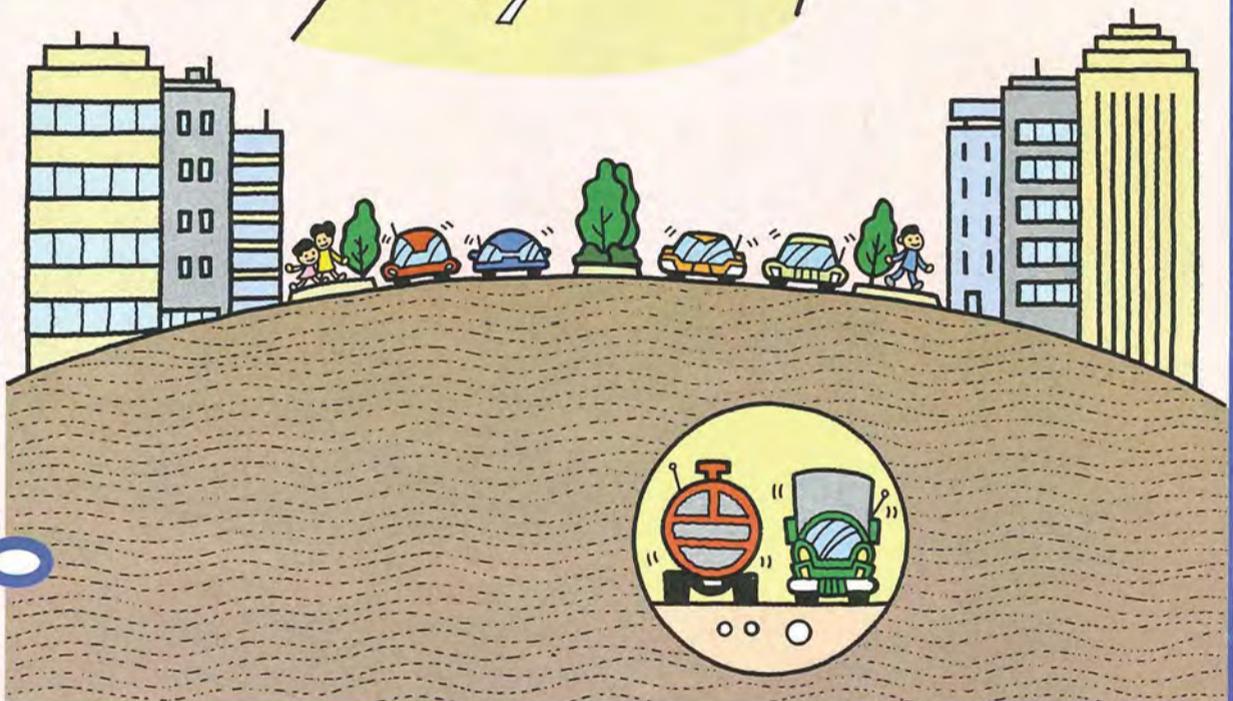
自動運転 システムで、 安全、ラクラク。

自動的に前後の自動車ときよりを保ったり、車線からはみださないように操作したり…そんな研究も進んでいるんだ。ボタンを押すだけで、自動的に、安全に、目的地まで行くことができるよ。そうすれば、昼寝をしてもいいし、風景をながめたり、おしゃべりしていても大丈夫。自動車旅行をみんなが楽しめるようになるね。



人は地上、 荷物は地下を、 別々に走るんだ。

今、道路には、荷物を運ぶトラックがたくさん走っているね。そこで、未来の街では、地下に荷物専用の道路を作る計画があるんだ。地下の道路では、ベルトコンベアー式の自動輸送になる部分もあって、そこでは運転手もいらないし、排気ガスも出ないよ。地上のじゅうたいが少なくなったり、空気も、きつときれいになるね。



●「道の日」のキャラクターの「こちだヨウ平」くんも、ステージでいっしょに…。



OUR FUTURES...ON THE ROAD
明日へと続く、私たちの道。

「道の日」サマーフェスタ「会場」の「くずはモール」に、今年もたくさんのお友達が来てくれました。きれいな合唱の歌声や、迫力のある吹奏楽の演奏の後には、いろいろな楽器をつかった「スキップ楽団」のステージ。舞台の上で参加してくれたお友達もいて、楽しい一日になりました。来年もまた、みんなと会えるといいね。

8月10日は「道の日」。
今年も8日に、たくさんのお友達が集合したよ!

日時 / 1997年11月21日(金) ~ 24日(月・祝)
10:00 ~ 17:00
会場 / アジア太平洋トレードセンター
(ニートラム、中埠頭、駅下車徒歩約5分)
後援 / '97土木の日イベント実行委員会
(建設省、日本道路公団、他)

「土木の日」のイベントが間近。
未来の道路にアクセスできるよ。

